

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 十文字学園

(2) 大学名

十文字学園女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒352-8510
埼玉県新座市菅沢2-1-28

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ジュウモンジ カズオ) 十文字 一夫 (昭和62年5月)		
学長	(シムラ フミオ) 志村 二三夫 (平成29年4月)		
副学長 兼 学長補佐	(ワタイ マサヤス) 綿井 雅康 (平成29年4月)		
副学長	(アダチ カズヒサ) 安達 一寿 (平成31年4月)		
	(オノ ユウジロウ) 小野 裕次郎 (平成31年4月)		
	(ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		
学部長 兼 学科長	【人間生活学部】 <人間福祉学科> (ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		

学部長 兼 学科長	【教育人文学部】 <幼児教育学科> (ヤマダ ヨウコ) 山田 陽子 (令和2年4月)		
	【社会情報デザイン学部】 <社会情報デザイン学部> (ナカヤマ シゲオ) 中山 成夫 (令和2年4月)		
学科長	<健康栄養学科> (キムラ ヤスコ) 木村 靖子 (令和2年4月)		
学科長	<食物栄養学科> (イワモト タマミ) 岩本 珠美 (令和2年4月)		
学科長	<食品開発学科> (コバヤシ ミチコ) 小林 三智子 (令和2年4月)		
学科長	<児童教育学科> (トミヤマ テツヤ) 富山 哲也 (令和2年4月)		
学科長	<心理学科> (フセ ハルミ) 布施 晴美 (令和2年4月)		
学科長	<文芸文化学科> (コバヤシ ミノル) 小林 実 (令和2年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
社会情報デザイン学部 社会情報デザイン学科 学士（社会学）	社会学・社会福祉学関係	4年	130人	3年次 5人	530人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	130人 () [若干名]	—	()	()	()	()	()	()	()	()	1.33 倍	— 倍	
志願者数	458 () [5]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
受験者数	416 () [5]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
合格者数	337 () [5]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
B 入学者数	173 () [5]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
入学定員超過率 B/A	1.33												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	173 [5] (-)	— [—] (-)									
2年次	/										
3年次	/		/								
4年次	/		/		/						
計	173 [5] (-)										

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	173 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{173} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語目的別科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前	1								1
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後	1								1
	英語コミュニケーション発展a	3・4前	1								1
	英語コミュニケーション発展b	3・4後	1								1
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4前・後	2								2
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後	2								2
	ビジネス英語	2・3・4後	2								1
	映画・ドラマ英語	2・3・4後	2								1
	インターネット英語	2・3・4後	2								1
	メディア英語	2・3・4前	2								1
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後	2								3
	中国語試験対策講座	1・2・3・4前	2								1
日本語検定対策講座	1・2・3・4前・後	2								1	
共通科目 日本語（非母語者向）	総合日本語 I a	1前	1								1
	総合日本語 I b	1後	1								2
	総合日本語 II a	2前	1								1
	総合日本語 II b	2後	1								1
	総合日本語 III a	3・4前	1								1
	総合日本語 III b	3・4後	1								1
	日本語表現技術 I	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術 II	1・2・3・4後	1								1
	日本語表現技術 III	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術 IV	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究A(時事 I)	1・2・3・4前	1								2
	日本語研究B(時事 II)	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究C(ビジネス I)	1・2・3・4前	1								1
	日本語研究D(ビジネス II)	1・2・3・4後	1								1
日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前	1								1	
日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後	1								1	
日本語能力試験対策講座 I	1・2・3・4前	1								1	
日本語能力試験対策講座 II	1・2・3・4後	1								1	
日本語集中講座(編入)	1・2・3・4前	1								2	
共通科目 キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2			1					
	キャリアロールモデル研究	2後	2								1
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2								2
	プロアクティブ人材育成	2後	2								2
	キャリアサポート演習	3通	2			1					
	キャリア基礎力 I	2・3前	2					1			1
	キャリア基礎力 II	2・3後	2			1					1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1								1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2								1
小計(89科目)	-	8	127	0	5	2	1			68	
外国語目的別科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前	1								1
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後	1								1
	英語コミュニケーション発展a	3・4前	1								1
	英語コミュニケーション発展b	3・4後	1								1
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後	2								2
	ビジネス英語	2・3・4後	2								1
	映画・ドラマ英語	2・3・4後	2								1
	インターネット英語	2・3・4後	2								1
	メディア英語	2・3・4前	2								1
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後	2								3
	中国語試験対策講座	1・2・3・4前	2								1
日本語検定対策講座	1・2・3・4前	2								1	
共通科目 日本語（非母語者向）	総合日本語 I a	1前	1								1
	総合日本語 I b	1後	1								2
	総合日本語 II a	2前	1								1
	総合日本語 II b	2後	1								1
	総合日本語 III a	3・4前	1								1
	総合日本語 III b	3・4後	1								1
	日本語表現技術 I	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術 II	1・2・3・4後	1								1
	日本語表現技術 III	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術 IV	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究A(時事 I)	1・2・3・4前	1								2
	日本語研究B(時事 II)	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究C(ビジネス I)	1・2・3・4前	1								1
	日本語研究D(ビジネス II)	1・2・3・4後	1								1
日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前	1								1	
日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後	1								1	
日本語能力試験対策講座 I	1・2・3・4前	1								1	
日本語能力試験対策講座 II	1・2・3・4後	1								1	
日本語集中講座(編入)	1・2・3・4前	1								2	
共通科目 キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2			1					
	キャリアロールモデル研究	2後	2								1
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2								2
	プロアクティブ人材育成	2後	2								2
	キャリアサポート演習	3通	2			1					
	キャリア基礎力 I	2・3前	2					1			1
	キャリア基礎力 II	2・3後	2			1					1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1								1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2								1
小計(89科目)	-	8	127	0	9	2	1			75	

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科 目	リベラルアーツ 学部基礎科目	現代社会の基礎理解A	1前	2		6	2	1				
		現代社会の基礎理解B	1後	2		6	2	1				
		ビジネス基礎	1前	2		3		1				
		社会情報リテラシー	1前	2		4	1					1
	社会学基礎	社会学基礎	1前	2		1		1				
		現代社会論	1後	2				1				
		社会調査法A(量的調査)	2前	2		1						
		社会調査法B(質的調査)	2後	2		1						
		社会調査実習	3前	2		1						
		ジェンダーと社会	1前	2		1						
		社会データ活用演習	1前	2		1						
		社会調査データ活用演習	2後	2		1						
	企画構想科目	デザイン思考入門	1前	2		1	1					
		企画構想ワークショップ I	1後	2		6	4	2				
		企画構想ワークショップ II	2前	2		5	1	1				
		企画構想ワークショップ III	2後	2		4		1				
		現代社会プロジェクト	3前	2		12	4	2				
	企画構想科目	表現基礎(デザインリテラシー)	1・2前	2			1					
		表現基礎(色彩)	1・2後	2			1					
		表現基礎(ビジュアルデザインA)	1・2前	2		1	1					
		表現基礎(ビジュアルデザインB)	2・3後	2		1						
		表現基礎(空間)	2・3後	2		1						
		表現基礎(映像)	2・3後	2			1					
		表現基礎(音)	2・3前	2		1						
コミュニケーション科目群	異文化コミュニケーション論	2前	2								1	
	異文化交流	2後	2		1							
	プレゼンテーション	3前	2			1						
	日本語表現基礎	2前	2		1							
	英語コミュニケーション I	2前・後	2								1	
	英語コミュニケーション II	3前・後	2								1	
	中国コミュニケーション I	2前・後	2								1	
中国コミュニケーション II	3前・後	2								1		
社会実習	現代社会実習 I (社会体験)	1・2・3前・後	2		1							
	現代社会実習 II (社会協働)	2・3・4前・後	2		1							
	インターンシップ	2・3・4前・後	2		1							
領域 社会 領域 目 群	消費生活論	2・3・4前	2			1						
	住空間論	2・3・4前	2		1							
	市民生活論	2・3・4後	2			1						
	家族の社会学	2・3・4前	2		1							
	ライフコース論	2・3・4後	2		1							
	現代若者・子ども論	3・4前	2								1	
	コミュニティ論	1・2・3前	2		1							
	まちづくり論	2・3・4後	2		1							
	SDGs論	2・3・4後	2								1	
	共生社会論	3・4前	2			1						
	現代社会と人権	3・4後	2								1	
	政治と社会	3・4後	2			1						
	公共政策	3・4前	2			1						
	国際関係論	2・3・4前	2								1	
	エリアスタディ	2・3・4後	2								1	
アイデンティティ論	3・4前	2				1						
カルチュラル・スタディーズ	2・3・4前	2		1								
メディアリテラシー	2・3・4後	2		1								
現代アート論	2・3・4前	2		1								
音楽と社会	2・3・4後	2		1								
情報社会と法	1・2・3前	2			1						1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専 門 科 目	組 織 マ ネ ジ ン グ 学 科	組織マネジメント	2・3・4前	2		1		1			1		
		会計学基礎	2・3・4前	2									
		企業論	2・3・4後	2		1		1					
		企業倫理とガバナンス	3・4前	2		1		1					
		ファイナンス基礎	3・4前	2		1							
		経営戦略論	2・3・4前	2				1					
		ビジネスと法	2・3・4前	2			1						
		ビジネスコミュニケーション	2・3・4前	2		1							
		グローバルビジネス	2・3・4前	2		1							
		生活経済	2・3・4前	2		1							
	ス ス 業 領 域	サービス学基礎	2・3・4前	2		1		1					
		マーケティング基礎	1・2・3後	2		1							
		マーケティングと商品開発	2・3・4前	2		1							
		業界研究	1・2・3後	2		1							
		ビジネスマーケティング講座	2・3・4後	2		1							
		IoT・AIとビジネス	2・3・4後	2		1							
	情 報 科 目	ウーマン・カフェ	3・4後	2		1							
		ビジネスプロジェクト	3・4後	2		1		1					
		株式会社運営入門	3・4後	2		1		1					
		編 域	プログラミング基礎	1・2後	2		1						
			プログラミング応用	2・3前	2		1						
			オブジェクト指向	2・3後	2		1						
			ネットショップ基礎	3・4前	2		1						
		ネットショップ応用	3・4後	2		1							
		組み込み言語基礎	2・3後	2		1							
		組み込み言語応用	3・4前	2		1							
3Dゲーム作成入門		3・4後	2			1							
Webページ作成基礎		2・3前	2		1								
Webページ作成応用		2・3後	2		1								
インターネット活用論		2・3前	2		1								
セキュリティ概論	2・3後	2						1					
情報ネットワーク基礎	3・4前	2						1					
情報ネットワーク演習	3・4前	2						1					
情報ネットワーク応用	3・4後	2						1					
情 報 科 目	情報社会とコンピュータ	1・2後	2		1								
	情報科学基礎	2・3前	2		1								
	IoT・AIとプログラミング	2・3後	2			1							
	拡張・複合現実	3・4前	2			1							
	データサイエンス入門	3・4前	2		1								
	オペレーションズリサーチ	2・3後	2		1								
	文書作成基礎	1・2後	2		1		1						
	社会データ処理基礎	2・3前	2		2								
社会データ処理応用	2・3後	2		1									
社会データベース基礎	2・3前	2		1									
社会データベース応用	2・3後	2		1									
演習・卒業研究	演習	3後	2		12	4	2						
卒業研究	4通	4		12	4	2							
	小計(103科目)	-	26	182	0	12	4	2			6		
	合計(192科目)	-	34	309	0	12	4	2			69		
卒業要件及び履修方法													
<p>共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」からから1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。 専門科目から、必修科目12科目26単位を含めた90単位以上を修得すること。 その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。 合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。</p>													

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	組 織 マ ネ ジ ン グ 学 科	組織マネジメント	2・3・4前	2		1		1				
		会計学基礎	2・3・4前	2								
		企業論	2・3・4後	2		1		1				
		企業倫理とガバナンス	3・4前	2		1		1				
		ファイナンス基礎	3・4前	2		1						
		経営戦略論	2・3・4前	2				1				
		ビジネスと法	2・3・4前	2			1					
		ビジネスコミュニケーション	2・3・4前	2		1						
		グローバルビジネス	2・3・4前	2		1						
		生活経済	2・3・4前	2		1						
	ス ス 業 領 域	サービス学基礎	2・3・4前	2		1		1				
		マーケティング基礎	1・2・3後	2		1						
		マーケティングと商品開発	2・3・4前	2		1						
		業界研究	1・2・3後	2		1				0		
		ビジネスマーケティング講座	2・3・4後	2		1					1	
		IoT・AIとビジネス	2・3・4後	2		1						
	情 報 科 目	ウーマン・カフェ	3・4後	2		1						
		ビジネスプロジェクト	3・4後	2		1		1				
		株式会社運営入門	3・4後	2		1		1				
		編 域	プログラミング基礎	1・2後	2		1					
			プログラミング応用	2・3前	2		1					
			オブジェクト指向	2・3後	2		1					
			ネットショップ基礎	3・4前	2		1					
		ネットショップ応用	3・4後	2		1						
		組み込み言語基礎	2・3後	2		1						
		組み込み言語応用	3・4前	2		1						
3Dゲーム作成入門		3・4後	2			1						
Webページ作成基礎		2・3前	2		1							
Webページ作成応用		2・3後	2		1							
インターネット活用論		2・3前	2		1							
セキュリティ概論	2・3後	2							1			
情報ネットワーク基礎	3・4前	2							1			
情報ネットワーク演習	3・4前	2							1			
情報ネットワーク応用	3・4後	2							1			
情 報 科 目	情報社会とコンピュータ	1・2後	2		1							
	情報科学基礎	2・3前	2		1							
	IoT・AIとプログラミング	2・3後	2			1						
	拡張・複合現実	3・4前	2			1						
	データサイエンス入門	3・4前	2		1							
	オペレーションズリサーチ	2・3後	2		1							
	文書作成基礎	1・2後	2		1		2	0				
	社会データ処理基礎	2・3前	2		2							
社会データ処理応用	2・3後	2		1								
社会データベース基礎	2・3前	2		1								
社会データベース応用	2・3後	2		1								
演習・卒業研究	演習	3後	2		12	4	2					
卒業研究	4通	4		12	4	2						
	小計(103科目)	-	26	182	0	14	4	2			11	
	合計(192科目)	-	34	309	0	14	4	2			86	
卒業要件及び履修方法												
<p>共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」からから1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。 専門科目から、必修科目12科目26単位を含めた90単位以上を修得すること。 その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。 合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を、「教授5」「准教授2」「講師1」から「教授1」「准教授1」「講師1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「コミュニケーション演習」の教員配置を、「教授1」「兼任・兼任5」から「兼任・兼任2」に変更。
教育効果を考慮し、「コミュニケーション演習」の配当年次を、「1前・後」から「1前」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「教授1」「准教授2」「講師2」から「講師1」「兼任・兼任9」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「地域で学ぶ」の教員配置を、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 開講コマ数に伴う調整により、「総合科目」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「教授2」「兼任・兼任7」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「リーガリティラシー」の教員配置を、「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「女性と健康」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「グローバル社会」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当者の職位変更前より、「持続可能な社会」の教員配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「くらしのなかの日本国憲法」の教員配置を「教授1」「兼任・兼任2」から「教授1」に変更。
教育効果を考慮し、「くらしのなかの日本国憲法」の配当年次を、「1・2・3 前・後」から「1・2・3 後」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「身体運動Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼任12」から「兼任・兼任14」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「情報処理演習Ⅰ」の教員配置を、「教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語1a」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語1b」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション応用」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション応用」の配当年次を、「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アドバンスト・ライティング」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の配当年次を、「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「総合日本語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語研究A(時事Ⅰ)」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語集中講座(編入)」の配当年次を、「1・2・3・4前」から「2・3・4前」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「現代社会の基礎理解A」の教員配置を、「教授6」「准教授2」「講師1」から「教授7」「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「現代社会の基礎理解B」の教員配置を、「教授6」「准教授2」「講師1」から「教授6」「講師2」に変更。
- ・ 専任教員退職により、「ビジネス基礎」の教員配置を、「教授3」「講師1」から「教授2」「講師1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「社会情報リテラシー」の教員配置を、「教授4」「准教授1」「兼任・兼任1」から「教授3」「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「社会学基礎」の教員配置を、「教授1」「講師1」から「講師1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「デザイン思考入門」の教員配置を、「教授1」「准教授1」から「教授1」「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「企画構想ワークショップⅠ」の教員配置を、「教授6」「准教授4」「講師2」から「教授1」「准教授1」「講師2」に変更。
- ・ 専任教員退職による担当教員変更により、「表現基礎(デザインリテラシー)」の教員配置を、「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 専任教員退職による担当教員変更により、「表現基礎(色彩)」の教員配置を、「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「表現基礎(ビジュアルデザインA)」の教員配置を、「教授1」「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「情報社会と法」の教員配置を、「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当者の職位変更前より、「業界研究」の教員配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「文書作成基礎」の教員配置を、「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
17 科目	175 科目	科目	192 科目	17 科目 [0]	175 科目 [0]	科目 []	192 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	海外語学研修	1	1・2・3・4前	一般科目	選択	コロナ禍に伴う海外渡航制限のため。代替措置無し。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

海外語学研修は各国の日本人に対する海外渡航制限の影響もありやむを得ずR2年度は非開講とし、学内メールにて学生には周知を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{192} = \boxed{0.52} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	24,118 m ²	— m ²	— m ²	24,118 m ²				
	運動場用地	39,202 m ²	— m ²	— m ²	39,202 m ²				
	小 計	63,320 m ²	— m ²	— m ²	63,320 m ²				
	そ の 他	21,905 m ²	— m ²	— m ²	21,905 m ²				
	合 計	85,225 m ²	— m ²	— m ²	85,225 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
		30,715 m ² (30,715 m ²)	— m ² (— m ²)	— m ² (— m ²)	30,715 m ² (30,715 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室 55 室 53 室	演 習 室 48 室	実験実習室 29 室 19 室	情報処理学習施設 8 室 7 室 (補助職員 一人)	語学学習施設 7 室 9 室 (補助職員 一人)	大学全体 学生の修学環境の見直しを行い、学修施設を増やした。ただし、語学学習施設は、学内組織の変更により2室減となった。(2)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 社会情報デザイン学部 社会情報デザイン学科		室 数 17 20	室	自己都合退職者3名分減(2)			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 閲覧席増加のため、資料移設、図書資料の除籍をおこなったことにより蔵書冊数は減少した。(2)	
	大学全体	189,906 [20,970] (179,390 [20,333]) (181,906 [20,570])	706 [207] (703 [206]) (706 [207])	18 [4] (20 [4]) (18 [4])	4,896 (4,442) (4,416)	15,487 (12,630)	90 (72)		
	計	189,906 [20,970] (179,390 [20,333]) (181,906 [20,570])	706 [207] (703 [206]) (706 [207])	18 [4] (20 [4]) (18 [4])	4,896 (4,442) (4,416)	15,487 (12,630)	90 (72)		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		1,930 m ²	391 345		150,722 146,639				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
		3,253 m ²	該 当 な し 該 当 な し						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当り研究費等	170千円	170千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	
		共同研究費等	17,000千円	17,000千円	設備購入費	100,000千円	100,000千円	50,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,300千円	1,240千円	1,240千円	1,240千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	十文字学園女子大学										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間生活学部	4	350	3年次 15人	350	-	1.04	1.04	令和2	令和2		
健康栄養学科	4	120	3年次 5	120	学士 (栄養学)	1.03	1.03	令和2	令和2		
食物栄養学科	4	120	3年次 10	120	学士 (栄養学)	1.05	1.05	令和2	令和2		
食品開発学科	4	40	-	160	学士 (食品学)	0.77	0.77	令和2	令和2		
人間福祉学科	4	70	-	70	学士 (社会福祉学)	1.18	1.18	令和2	令和2		
社会福祉・介護福祉コース	4	20	-	-	学士 (社会福祉学)	1.50	1.50	令和2	令和2		
社会福祉・保育コース	4	50	-	-	学士 (社会福祉学)	1.06	1.06	令和2	令和2		
教育人文学部	4	440	3年次 5	440	-	1.17	1.17	令和2	令和2		
幼児教育学科	4	170	-	170	学士 (教育学)	1.02	1.02	令和2	令和2		
児童教育学科	4	80	-	80	学士 (教育学)	1.08	1.08	令和2	令和2		
心理学科	4	120	-	120	学士 (心理学)	1.27	1.27	令和2	令和2		
文芸文化学科	4	70	3年次 5	70	学士 (文学)	1.44	1.44	令和2	令和2		
社会情報デザイン学部	4	130	3年次 5	130	-	1.33	1.33	令和2	令和2		
社会情報デザイン学科	4	130	3年次 5	130	学士 (社会学)	1.33	1.33	令和2	令和2	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号	
(旧) 人間生活学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成23		(旧) 人間生活学部 令和2年度より学生募集停止
幼児教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
児童教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
人間発達心理学科	4	-	-	-	学士 (心理学)	-	-	-	平成23		
人間福祉学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・介護福祉コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・保育コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
健康栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成27		
食物栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成23		
文芸文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成27		
生活情報学科	4	-	-	-	学士 (社会情報学)	-	-	-	平成23		
メディアコミュニケーション学科	4	-	-	-	学士 (コミュニケーション学)	-	-	-	平成23		
大学全体	-	920	25	920	-	-	-	-	-		

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
人間生活学研究科								-	-	
食物栄養学専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (栄養学)	1.16	1.00	-	平成28	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号
食物栄養学専攻 (修士課程)	2	5	-	10	修士 (栄養学)	0.80	0.60	-	平成22	
研究科全体	-	7	-	16	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜社会情報デザイン学部 社会情報デザイン学科＞

(1) ① 担当教員表

【令和2年度】

【認可時又は届出時】		【令和2年度】	
専任・兼任の別	職名	専任・兼任の別	職名
	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名
専	安達 一寿 <令和2年4月> 入門ゼミナール コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 社会情報リテラシー 企画構想ワークショップI 現代社会プロジェクト インターネット活用論 情報社会とコンピュータ 文書作成基礎 社会データ処理基礎 演習 卒業研究	専	安達 一寿 <令和2年4月> 入門ゼミナール コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 社会情報リテラシー 企画構想ワークショップI 現代社会プロジェクト インターネット活用論 情報社会とコンピュータ 文書作成基礎 社会データ処理基礎 演習 卒業研究
専	大友 由紀子 <令和2年4月> 入門ゼミナール キャリアデザインとライフプラン 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 社会学基礎 社会調査法B(質的調査) 社会調査実習 企画構想ワークショップII 現代社会プロジェクト 家族の社会学 ライフコース論 コミュニティ論 演習 卒業研究	専	大友 由紀子 <令和2年4月> 入門ゼミナール キャリアデザインとライフプラン 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 社会学基礎 社会調査法B(質的調査) 社会調査実習 企画構想ワークショップII 現代社会プロジェクト 家族の社会学 ライフコース論 コミュニティ論 演習 卒業研究
専	小野 裕次郎 <令和2年4月> 入門ゼミナール 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 社会情報リテラシー 企画構想ワークショップII 現代社会プロジェクト プログラミク基礎 プログラミング応用 オブジェクト指向 組み込み言語基礎 組み込み言語応用 演習 卒業研究	専	小野 裕次郎 <令和2年4月> 入門ゼミナール 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 社会情報リテラシー 企画構想ワークショップII 現代社会プロジェクト プログラミク基礎 プログラミング応用 オブジェクト指向 組み込み言語基礎 組み込み言語応用 演習 卒業研究
専	鹿又 伸夫 <令和2年4月> 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 社会調査法A(量的調査) アンケート社会 社会データ活用演習 社会調査データ活用演習 企画構想ワークショップI 企画構想ワークショップII 現代社会プロジェクト 演習 卒業研究	専	鹿又 伸夫 <令和2年4月> 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 社会調査法A(量的調査) アンケート社会 社会データ活用演習 社会調査データ活用演習 企画構想ワークショップI 企画構想ワークショップII 現代社会プロジェクト 演習 卒業研究
専	川瀬 基寛 <令和2年4月> 入門ゼミナール 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 企画構想ワークショップII 現代社会プロジェクト 表現基礎(ビジュアルデザインA) 表現基礎(ビジュアルデザインB) カルチュラル・スタディーズ メディアリテラシー 現代アート論 演習 卒業研究	専	川瀬 基寛 <令和2年4月> 入門ゼミナール 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 企画構想ワークショップII 現代社会プロジェクト 表現基礎(ビジュアルデザインA) 表現基礎(ビジュアルデザインB) カルチュラル・スタディーズ メディアリテラシー 現代アート論 演習 卒業研究 表現基礎(デザインリテラシー)
専	北原 優一 <令和2年4月> 入門ゼミナール 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 社会情報リテラシー 企画構想ワークショップI 現代社会プロジェクト ネットショップ基礎 ネットショップ応用 Webページ作成基礎 Webページ作成応用 社会データベース基礎 社会データベース応用 演習 卒業研究	専	北原 優一 <令和2年4月> 入門ゼミナール 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 社会情報リテラシー 企画構想ワークショップI 現代社会プロジェクト ネットショップ基礎 ネットショップ応用 Webページ作成基礎 Webページ作成応用 社会データベース基礎 社会データベース応用 演習 卒業研究
専	込江 雅彦 <令和2年4月> 入門ゼミナール 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B ビジネス基礎 企画構想ワークショップI 現代社会プロジェクト 異文化交流 日本経済基礎 現代社会実習I(社会体験) 現代社会実習II(社会協働) インタビュー ファイナンス基礎 ビジネスコミュニケーション グローバルビジネス サービス学基礎 業界研究 ビジネスマーケティング講座 IoT・AIとビジネス ビジネスプロジェクト 演習 卒業研究	専	込江 雅彦 <令和2年4月> 入門ゼミナール 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B ビジネス基礎 企画構想ワークショップI 現代社会プロジェクト 異文化交流 日本経済基礎 現代社会実習I(社会体験) 現代社会実習II(社会協働) インタビュー ファイナンス基礎 ビジネスコミュニケーション グローバルビジネス サービス学基礎 業界研究 IoT・AIとビジネス ビジネスプロジェクト 演習 卒業研究

		<p>ｼﾝｶﾞ ｼﾝﾀ ｼﾝﾀ 新行内 康慈 <令和2年4月></p> <p>入門ゼミナール 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 社会情報リテラシー 企画構想ワークショップⅠ 現代社会プロジェクト 情報科学基礎 データサイエンス入門 オペレーションズリサーチ 社会データ処理基礎 社会データ処理応用 演習 卒業研究</p>			<p>ｼﾝｶﾞ ｼﾝﾀ ｼﾝﾀ 新行内 康慈 <令和2年4月></p> <p>入門ゼミナール 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 社会情報リテラシー 企画構想ワークショップⅠ 現代社会プロジェクト 情報科学基礎 データサイエンス入門 オペレーションズリサーチ 社会データ処理基礎 社会データ処理応用 演習 卒業研究</p>
		<p>ｽｷﾞ ﾏ ﾏ 杉元 葉子 <令和2年4月></p> <p>入門ゼミナール 課題解決ゼミナール 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B デザイン思考入門 企画構想ワークショップⅠ 企画構想ワークショップⅡ 企画構想ワークショップⅢ 現代社会プロジェクト 表現基礎（空間） 住空間論 まちづくり論 演習 卒業研究</p>		<p>ｽｷﾞ ﾏ ﾏ 杉元 葉子 <令和2年4月></p> <p>入門ゼミナール 課題解決ゼミナール 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B デザイン思考入門 企画構想ワークショップⅠ 企画構想ワークショップⅡ 企画構想ワークショップⅢ 現代社会プロジェクト 表現基礎（空間） 住空間論 まちづくり論 演習 卒業研究 報告書目</p>	
		<p>ｶﾀ ﾏ ﾏ 田巻 昭 <令和2年4月></p> <p>キャリア基礎力Ⅰ 社会情報リテラシー Webページ作成応用 セキュリティ概論 文書作成基礎</p>		<p>ｶﾀ ﾏ ﾏ 田巻 昭 <令和2年4月></p> <p>キャリア基礎力Ⅰ 社会情報リテラシー Webページ作成応用 セキュリティ概論 文書作成基礎 現代社会の基礎理解B</p>	
		<p>ｶﾀ ﾏ ﾏ ﾏ 棚谷 祐一 <令和2年4月></p> <p>入門ゼミナール 読書入門ゼミナール キャリア基礎力Ⅱ 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 企画構想ワークショップⅢ 現代社会プロジェクト 表現基礎（音） 音楽と社会 演習 卒業研究</p>		<p>ｶﾀ ﾏ ﾏ ﾏ 棚谷 祐一 <令和2年4月></p> <p>入門ゼミナール 読書入門ゼミナール キャリア基礎力Ⅱ 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 企画構想ワークショップⅢ 現代社会プロジェクト 表現基礎（音） 音楽と社会 演習 卒業研究</p>	
		<p>ｶﾀ ﾏ ﾏ ﾏ 田原 基子 <令和2年4月></p> <p>持続可能な社会 異文化コミュニケーション論 英語コミュニケーションⅠ SDGs論 国際関係論 エリアスタディ</p>		<p>ｶﾀ ﾏ ﾏ ﾏ 田原 基子 <令和2年4月></p> <p>持続可能な社会 異文化コミュニケーション論 英語コミュニケーションⅠ SDGs論 国際関係論 エリアスタディ 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B</p>	
		<p>ｶﾀ ﾏ ﾏ ﾏ 中山 成夫 <令和2年4月></p> <p>入門ゼミナール キャリアデザイン入門 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B ビジネス基礎 企画構想ワークショップⅢ 現代社会プロジェクト 組織マネジメント 企業論 企業倫理とガバナンス 株式会社運営入門 演習 卒業研究</p>		<p>ｶﾀ ﾏ ﾏ ﾏ 中山 成夫 <令和2年4月></p> <p>入門ゼミナール キャリアデザイン入門 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B ビジネス基礎 企画構想ワークショップⅢ 現代社会プロジェクト 組織マネジメント 企業論 企業倫理とガバナンス 株式会社運営入門 演習 卒業研究 現代社会実習Ⅰ（社会体験）</p>	
		<p>ﾏ ﾏ ﾏ ﾏ 松本 晃子 <令和2年4月></p> <p>入門ゼミナール キャリアデザインとライフプラン 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B ビジネス基礎 企画構想ワークショップⅡ 現代社会プロジェクト 生活経済 マーケティング基礎 マーケティングと商品開発 ウーマン・カフェ 演習 卒業研究</p>		<p>ﾏ ﾏ ﾏ ﾏ 松本 晃子 <令和2年4月></p> <p>入門ゼミナール キャリアデザインとライフプラン 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B ビジネス基礎 企画構想ワークショップⅡ 現代社会プロジェクト 生活経済 マーケティング基礎 マーケティングと商品開発 ウーマン・カフェ 演習 卒業研究 報告書目</p>	
		<p>ｱ ﾏ (ﾏ ﾏ ﾏ) ﾏ ﾏ 阿部（神崎）史 <令和2年4月></p> <p>入門ゼミナール リーガルリテラシー 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 企画構想ワークショップⅠ 現代社会プロジェクト 消費生活論 消費生活論 情報社会と法 ビジネスと法 演習 卒業研究</p>			
		<p>ｶ ﾏ ﾏ ﾏ 加藤 暎子 <令和2年4月></p> <p>入門ゼミナール 課題解決ゼミナール 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B デザイン思考入門 企画構想ワークショップⅠ 企画構想ワークショップⅡ 現代社会プロジェクト 表現基礎（デザインリテラシー） 表現基礎（色彩） プレゼンテーション 演習 卒業研究</p>			

		加藤 英介 ＜令和2年4月＞	加藤 英介 ＜令和2年4月＞
専	准教授	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 社会学基礎 企業倫理ワークショップI 現代社会プロジェクト 表現基礎（ビジュアルデザインA） 表現基礎（映像） 3Dゲーム作成入門 IoT・AIとプログラミング 読書・協働授業 文書作成基礎 演習 卒業研究	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 社会学基礎 企業倫理ワークショップI 現代社会プロジェクト 表現基礎（ビジュアルデザインA） 表現基礎（映像） 3Dゲーム作成入門 IoT・AIとプログラミング 読書・協働授業 文書作成基礎 演習 卒業研究 情報処理演習I
専	准教授	川口 英俊 ＜令和2年4月＞	川口 英俊 ＜令和2年4月＞
専	准教授	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 企業倫理ワークショップI 現代社会プロジェクト 共生社会論 政治と社会 公共政策 演習 卒業研究	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 企業倫理ワークショップI 現代社会プロジェクト 共生社会論 政治と社会 公共政策 演習 卒業研究
専	講師	鳥越 信香 ＜令和2年4月＞	鳥越 信香 ＜令和2年4月＞
専	講師	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力I 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 社会学基礎 現代社会論 企業倫理ワークショップI 企業倫理ワークショップII 現代社会プロジェクト アイデンティティ論 演習 卒業研究	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力I 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B 社会学基礎 現代社会論 企業倫理ワークショップI 企業倫理ワークショップII 現代社会プロジェクト アイデンティティ論 演習 卒業研究
専	講師	見吉 英彦 ＜令和2年4月＞	見吉 英彦 ＜令和2年4月＞
専	講師	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B ビジネス基礎 企業倫理ワークショップI 企業倫理ワークショップII 現代社会プロジェクト 組織マネジメント 企業論 企業倫理とガバナンス 経営戦略論 サービスマネジメント ウーマン・カフェ ビジネスプロジェクト 株式会社運営入門 演習 卒業研究	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 現代社会の基礎理解A 現代社会の基礎理解B ビジネス基礎 企業倫理ワークショップI 企業倫理ワークショップII 現代社会プロジェクト 組織マネジメント 企業論 企業倫理とガバナンス 経営戦略論 サービスマネジメント ウーマン・カフェ ビジネスプロジェクト 株式会社運営入門 演習 卒業研究
兼担	教授	飯田 路佳 ＜令和2年4月＞	飯田 路佳 ＜令和2年4月＞
		女性の心と身体 身体運動II	女性の心と身体 身体運動II
兼担	教授	池川 素樹 ＜令和3年4月＞	
		地域と人間生活	
兼担	教授	池間 里代子 ＜令和2年4月＞	池間 里代子 ＜令和2年4月＞
兼担	教授	読書入門ゼミナール 中国語Ia 中国語Ib 中国語IIa 中国語IIb 漢字検定研修 中国語試験対策講座 中国コミュニケーションI 中国コミュニケーションII	読書入門ゼミナール 中国語Ia 中国語Ib 中国語IIa 中国語IIb 海外語研修 中国語試験対策講座 中国コミュニケーションI 中国コミュニケーションII
兼担	教授	石野 崇一 ＜令和2年4月＞	石野 崇一 ＜令和2年4月＞
		地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成	地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成
			石山 隆之 ＜令和2年4月＞ 読書演習 身体運動II
兼担	教授	片居木 英人 ＜令和2年4月＞	片居木 英人 ＜令和2年4月＞
		ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法 現代社会と人権	ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法 現代社会と人権
			風間 文明 ＜令和2年4月＞ 専主社会演習
兼担	教授	狩野 浩二 ＜令和2年4月＞	狩野 浩二 ＜令和2年4月＞
		読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育	読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 専主社会演習

兼担	教授	マコト (マコト) 朋美 向後 (田中) 朋美 <令和2年4月> コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンスト・リスニング	兼担	教授	マコト (マコト) 朋美 向後 (田中) 朋美 <令和2年4月> コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンスト・リスニング
兼担	教授	ナホト シノブ 齋藤 志 <令和3年4月> 人間理解ワークショップ			
兼担	教授	ナホト 775 佐藤 隼 <令和2年4月> ボランティア論	兼担	教授	ナホト 775 佐藤 隼 <令和2年4月> ボランティア論
兼担	教授	シホ (シホ) ショ 段妻 (松尾) 優子 <令和2年4月> コミュニケーション演習 英語 I a アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座	兼担	教授	シホ (シホ) ショ 段妻 (松尾) 優子 <令和2年4月> コミュニケーション演習 英語 I a アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座 アドバンスト・リーディング
兼担	教授	シホ ショ sheila Cliffe <令和2年4月> コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語	兼担	教授	シホ ショ sheila Cliffe <令和2年4月> コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語 アドバンスト・ライティング
兼担	教授	タツキ 7710 鈴木 康弘 <令和2年4月> 身体運動 II	兼担	教授	タツキ 7710 鈴木 康弘 <令和2年4月> 身体運動 II
兼担	教授	ナホト 8374 斎谷 和成 <令和3年4月> 地域と人間生活			
兼担	教授	マコト シノブ 角田 真二 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	教授	マコト シノブ 角田 真二 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	教授	ナホト (タツキ) 8371 長田 (鈴木) 瑞恵 <令和2年4月> 子育てと環境	兼担	教授	ナホト (タツキ) 8371 長田 (鈴木) 瑞恵 <令和2年4月> 子育てと環境
兼担	教授	ヒロキ 8374 樋口 一貴 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 芸術を読みとる	兼担	教授	ヒロキ 8374 樋口 一貴 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 芸術を読みとる
兼担	教授	ヒロキ 874 平田 智秋 <令和2年4月> 身体運動 II	兼担	教授	ヒロキ 874 平田 智秋 <令和2年4月> 身体運動 II
兼担	教授	ナホト 882 布施 晴美 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 女性の心と身体	兼担	教授	ナホト 882 布施 晴美 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 女性の心と身体
兼担	教授	ヒロキ 772 星野 敬子 <令和2年4月> 地域で学ぶ	兼担	教授	ヒロキ 772 星野 敬子 <令和2年4月> 地域で学ぶ 総合科目
兼担	教授	マコト 8375 松岡 敬明 <令和2年4月> コミュニケーション演習	兼担	教授	マコト 8375 松岡 敬明 <令和2年4月> コミュニケーション演習
兼担	教授	マコト シノブ 松永 修一 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成	兼担	教授	マコト シノブ 松永 修一 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成
兼担	教授	ナホト 872 山田 隼子 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境	兼担	教授	ナホト 872 山田 隼子 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境
兼担	教授	ナホト 914 山本 悟 <令和2年4月> 身体運動 II	兼担	教授	ナホト 914 山本 悟 <令和2年4月> 身体運動 II
兼担	教授	シノブ 874 吉田 亨 <令和2年4月> 地域と人間生活 共生社会入門	兼担	教授	シノブ 874 吉田 亨 <令和2年4月> 地域と人間生活 共生社会入門
兼担	教授	シノブ 874 好本 恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	教授	シノブ 874 好本 恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール

兼担	教授	794 794 綿井 雅康 ＜令和2年4月＞ 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期	兼担	教授	794 794 綿井 雅康 ＜令和2年4月＞ 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期
			兼担	特任教授	794 794 竹之内 修 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション講習
兼担	准教授	794 794 綾井 桜子 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 現代若者・子ども論	兼担	准教授	794 794 綾井 桜子 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 現代若者・子ども論
			兼担	准教授	794 794 藤村 久林 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	794 794 石川 敬史 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	794 794 石川 敬史 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
			兼担	准教授	794 794 391 石田 (令) 有瑞 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	794 794 落合 真裕 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション講習 読書入門ゼミナール グローバル社会	兼担	准教授	794 794 落合 真裕 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション講習 読書入門ゼミナール グローバル社会
兼担	准教授	794 794 梶野 涼子 ＜令和3年4月＞ 食の科学			
兼担	准教授	794 794 久保田 葉子 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	794 794 久保田 葉子 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	794 794 白明地 夕佳 ＜令和3年4月＞ 地域と人間生活			
兼担	准教授	794 794 鈴木 晴子 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境	兼担	准教授	794 794 鈴木 晴子 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境
			兼担	准教授	794 794 曾野 祐紀 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	794 794 徳野 裕子 ＜令和2年4月＞ 女性と健康	兼担	准教授	794 794 徳野 裕子 ＜令和2年4月＞ 女性と健康
兼担	准教授	794 794 星野 祐子 ＜令和2年4月＞ 日本語検定対策講座	兼担	准教授	794 794 星野 祐子 ＜令和2年4月＞ 日本語検定対策講座 総合科目
兼担	准教授	794 794 三原 あさみ ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	794 794 三原 あさみ ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼担	講師	794 794 福田 朋美 ＜令和2年4月＞ 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E (医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語中講座 (編入) ※	兼担	講師	794 794 福田 朋美 ＜令和2年4月＞ 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E (医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語中講座 (編入) ※ 総合日本語Ⅰb 日本語研究A (時事Ⅰ) 日本語表現技術Ⅲ 日本語表現技術Ⅳ
兼担	講師	794 794 神田 俊平 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼担	講師	794 794 神田 俊平 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ 読書入門ゼミナール
兼担	講師	794 794 帆 帆菜 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb	兼担	講師	794 794 帆 帆菜 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 総合科目

兼担	講師	ニノノ マ 新橋 良恵 ＜令和2年4月＞ 読書入門セミナー	兼担	講師	ニノノ マ 新橋 良恵 ＜令和2年4月＞ 読書入門セミナー グローバル社会
				兼担	講師
					兼担
兼担	講師	ヤマノ ユキノ 山下 悠真乃 ＜令和2年4月＞ 総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅲ 日本語集中講座（編入）※	兼担	講師	ヤマノ ユキノ 山下 悠真乃 ＜令和2年4月＞ 総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅲ 日本語集中講座（編入）※ 日本語研究A（時事Ⅰ）
兼担	講師	ナガハチ 章夫 ＜令和3年4月＞ 地域と人間生活	兼担	講師	ナガハチ 章夫 ＜令和2年4月＞ 読書入門セミナー
兼担	講師	カネノ 京良 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼担	講師	カネノ 京良 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼担	講師	ナガハチ 孝枝 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼担	講師	ナガハチ 孝枝 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼担	助教	コノノ 有紀子 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境	兼担	助教	コノノ 有紀子 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境
兼担	助教	カネノ 美穂樹 ＜令和3年4月＞ 地域と人間生活			
				兼担	講師
					兼担
兼任	講師	フジノ 宏之 ＜令和2年4月＞ 多様性と価値 くらしのなかの日本国憲法	兼任	講師	フジノ 宏之 ＜令和2年4月＞ 多様性と価値 くらしのなかの日本国憲法
兼任	講師	フジノ 洋 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼任	講師	フジノ 洋 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
				兼任	講師
					兼任
				兼任	講師
					兼任
兼任	講師	カネノ 薫 ＜令和2年4月＞ 日本語研究A（時事Ⅰ） 日本語研究B（時事Ⅱ）	兼任	講師	カネノ 薫 ＜令和2年4月＞ 日本語研究A（時事Ⅰ） 日本語研究B（時事Ⅱ）
兼任	講師	カネノ 環 ＜令和3年4月＞ 会計学基礎			
				兼任	講師
					兼任
兼任	講師	ナガハチ 理枝子 ＜令和2年4月＞ 英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb	兼任	講師	ナガハチ 理枝子 ＜令和2年4月＞ 英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb
				兼任	講師
					兼任

兼任	講師	サトウ 洋子 佐藤 典子 <令和2年4月> 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ	兼任	講師	サトウ 洋子 佐藤 典子 <令和2年4月> 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ
兼任	講師	サトウ シゲ 澤野 次郎 <令和3年4月> 災害と社会			
兼任	講師	シズキ フミ 清水 文子 <令和2年4月> 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ	兼任	講師	シズキ フミ 清水 文子 <令和2年4月> 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ
兼任	講師	タニ ヒロコ 谷 洋子 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング	兼任	講師	タニ ヒロコ 谷 洋子 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング 英語Ⅰa TOEIC対策講座
			兼任	講師	タニグチ ケイ 谷口 京 <令和2年4月> 表裏基礎(色聊)
兼任	講師	チシマ コウイチ 千足 耕一 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼任	講師	チシマ コウイチ 千足 耕一 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼任	講師	フジト 喜美 <令和2年4月> 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb	兼任	講師	フジト 喜美 <令和2年4月> 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb
			兼任	講師	ドウイ 智博 土井 智博 <令和2年4月> 総合科目
			兼任	講師	トキワケ フミ 寿保 史子 <令和2年4月> 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb
			兼任	講師	トコウ ヒロコ 藤原 典代 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼任	講師	ナカノ マチ子 中島 紀子 <令和2年4月> 日本語研究F(人文科学)	兼任	講師	ナカノ マチ子 中島 紀子 <令和2年4月> 日本語研究F(人文科学)
			兼任	講師	チシマ コウイチ 長渡 耕一 <令和2年4月> 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb
兼任	講師	ナカノ マチ子 名晃那 厚 <令和2年4月> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	兼任	講師	ナカノ マチ子 名晃那 厚 <令和2年4月> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 社会情報リテラシー
			兼任	講師	ニシキ 仁典 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼任	講師	フシノ スズ 深澤 進 <令和2年4月> ネットワーク社会	兼任	講師	フシノ スズ 深澤 進 <令和2年4月> ネットワーク社会
兼任	講師	フシノ エイジロウ 藤生 栄一郎 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼任	講師	フシノ エイジロウ 藤生 栄一郎 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
			兼任	講師	フジト ヒロコ 船場 雄次 <令和2年4月> 総合科目
			兼任	講師	フシノ ヒロコ 藤生 高志 <令和2年4月> 情報社会と法
			兼任	講師	フシノ ヒロコ 藤生 和男 <令和2年4月> フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb
兼任	講師	マブソン ローラン Mabesonne Laurent <令和2年4月> フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb			

兼任	講師	宮崎 順子 <令和3年4月> インターネット英語	兼任	講師	宮崎 順子 <令和2年4月> 英語Ⅰa
兼任	講師	宮本 正浩 <令和2年4月> アドバンスト・ライティング メディア英語	兼任	講師	宮本 正浩 <令和2年4月> アドバンスト・ライティング アドバンスト・ライティング メディア英語
兼任	講師	安恒 佳代子 <令和2年4月> 日本語研究C（ビジネスⅠ） 日本語研究D（ビジネスⅡ）	兼任	講師	安恒 佳代子 <令和2年4月> 日本語研究C（ビジネスⅠ） 日本語研究D（ビジネスⅡ）
兼任	講師	矢澤 美佐紀 <令和3年4月> 歴史のなかの女性			
兼任	講師	山本 賢二 <令和2年4月> 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb			

（注）

- ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

【採用・退職・新規担当】

- ・ 阿部（神崎）史准教授退職に伴い、「リーガルリテラシー」担当として川口かすみ講師を、「情報社会と法」担当として松野高志講師を採用。
「入門ゼミナール」、「現代社会の基礎理解A」、「現代社会の基礎理解B」、「企画構想ワークショップ」は別教員も担当しているため影響なし。
- ・ 加藤暁子准教授退職に伴い、「デザイン思考入門」担当として大井鉄也講師を採用。「表現基礎（デザインリテラシー）」は川瀬基寛教授が担当。
「表現基礎（色彩）」担当として谷口京講師を採用。
「入門ゼミナール」、「現代社会の基礎理解A」、「現代社会の基礎理解B」、「企画構想ワークショップ」は別教員も担当しているため影響なし。
- ・ 齋藤忍准教授の退職に伴い、「人間理解ワークショップ」（R3年度開講）の担当として後任選定中。
- ・ 川瀬基寛教授および加藤亮准教授から「表現基礎（ビジュアルデザインA）」担当について大井福也講師を採用し変更
- ・ 込江雅彦教授退職。「入門ゼミナール」、「現代社会の基礎理解A」、「現代社会の基礎理解B」、「ビジネス基礎」、「企画構想ワークショップI」は別教員も担当しているため影響なし。「現代社会実習I（社会体験）」は中山成夫教授が新規担当
- ・ 竹ノ内修特任教授新規採用。「コミュニケーション演習」、「英語コミュニケーション応用」担当
- ・ 飯村九林准教授新規採用、「読書入門ゼミナール」担当
- ・ 石田（今村）有理准教授「読書入門ゼミナール」新規担当
- ・ 曾野麻紀准教授「読書入門ゼミナール」新規担当
- ・ 野田日出子講師「読書入門ゼミナール」新規担当
- ・ 秋山まき子講師新規採用、「TOEIC対策講座」、「英語Ia」担当
- ・ 大井鉄也講師新規採用、「デザイン思考入門」担当
- ・ 大井福也講師新規採用、「表現基礎（ビジュアルデザインA）」担当
- ・ 齋藤麗子講師「女性と健康」新規追加
- ・ 長渡陽一講師新規採用。「朝鮮語Ia」、「朝鮮語Ib」担当
- ・ 仁科幸講師新規採用。「身体運動II」担当
- ・ 船曳建夫講師新規採用。「総合科目」担当
- ・ Mablesone Laurent講師退職に伴い、増茂和男講師新規採用「フランス語Ia」、「フランス語Ib」担当
- ・ 土井善晴講師「総合科目」新規担当
- ・ 山本賢二講師退職に伴い、時松史子講師新規採用。「中国語Ia」、「中国語Ib」担当
- ・ 蓬郷尚代講師「身体運動II」新規担当

【複数教員による持回り授業による担当変更】

- ・ 安達一寿教授「コミュニケーション演習」、「現代社会の基礎理解B」、「企画構想ワークショップI」本年度担当無し
- ・ 大友由紀子教授「入門ゼミナール」、「現代社会の基礎理解A」本年度担当無し
- ・ 鹿又伸夫教授「現代社会の基礎理解B」、「企画構想ワークショップI」本年度担当無し
- ・ 川瀬基寛教授「入門ゼミナール」、「現代社会の基礎理解A」本年度担当無し
- ・ 新行内康慈教授「入門ゼミナール」、「現代社会の基礎理解A」、「現代社会の基礎理解B」、「企画構想ワークショップI」今年度担当無し
- ・ 杉元葉子教授「総合科目」新規担当、「入門ゼミナール」、「現代社会の基礎理解B」本年度担当無し
- ・ 田倉 昭教授「現代社会の基礎理解B」本年度担当追加
- ・ 棚谷祐一教授「入門ゼミナール」、「読書入門ゼミナール」、「現代社会の基礎理解B」本年度担当無し
- ・ 田総恵子教授「現代社会の基礎理解A」、「現代社会の基礎理解B」本年度担当追加
- ・ 中山成夫教授「入門ゼミナール」、「現代社会の基礎理解A」本年度担当無し
- ・ 加藤亮准教授「情報処理演習I」新規担当、「入門ゼミナール」、「読書入門ゼミナール」、「現代社会の基礎理解A」、「現代社会の基礎理解B」本年度担当無し
- ・ 川口英俊准教授「読書入門ゼミナール」、「現代社会の基礎理解B」本年度担当無し
- ・ 鳥越信吾講師「現代社会の基礎理解A」本年度担当無し
- ・ 見吉英彦講師「入門ゼミナール」、「読書入門ゼミナール」、「現代社会の基礎理解A」本年度担当無し
- ・ 池間里代子教授「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 石山隆之教授「総合科目」、「身体運動II」本年度担当追加
- ・ 狩野浩二教授「総合科目」本年度担当追加
- ・ 角田真二教授「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 樋口一貴「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 星野敦子教授「総合科目」本年度担当追加
- ・ 好本恵教授「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 綾井桜子准教授「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 石川敬史准教授「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 落合真裕准教授「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 久保田葉子准教授「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 星野祐子准教授「総合科目」本年度担当追加
- ・ 三藤あさみ准教授「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 神田俊平講師「読書入門ゼミナール」本年度担当追加
- ・ 仇暁芸講師「総合科目」本年度担当追加
- ・ 渡辺章夫講師「読書入門ゼミナール」本年度担当追加

【科目配当上の都合による変更】

- ・ 安達一寿教授「社会情報リテラシー」担当無し
- ・ 大友由紀子教授「社会学基礎」担当無し
- ・ 加藤亮介准教授「社会情報リテラシー」、「文書作成基礎」担当無し
- ・ 川口英俊准教授「企画構想ワークショップⅠ」担当無し
- ・ 池間 里代子教授 海外語学研修は、新型コロナウイルス感染症の影響のため未開講。
- ・ 石野榮一教授「地域で学ぶ」担当無し
- ・ 片居木英人教授「くらしのなかの日本国憲法」本学科担当無し
- ・ 設楽（松尾）優子教授「アドバンスト・リーディング」担当追加、「コミュニケーション演習」担当無し
- ・ sheila Cliffe教授「アドバンスト・ライティング」、「コミュニケーション演習」担当追加
- ・ 松岡敬明教授「コミュニケーション演習」担当無し
- ・ 綿井雅康教授「総合科目」担当無し。「自主社会活動」風間文明教授に担当変更
- ・ 落合真裕准教授「コミュニケーション演習」担当無し、
- ・ 稲田朋晃講師「総合日本語Ⅰb」、「日本語研究A（時事Ⅰ）」、「日本語表現技術Ⅲ」担当追加。
「日本語表現技術Ⅱ」、「日本語集中講座（編入）※」担当無し。
※「日本語集中講座（編入）」は編入者用クラスのため今年後開講無し
「日本語能力試験対策講座Ⅰ」、「日本語能力試験対策講座Ⅱ」、小笠原典子講師へ担当変更。
- ・ 新嶋良恵講師「グローバル社会」担当追加
- ・ 山下悠貴乃講師「日本語表現技術Ⅱ」、「日本語研究A（時事Ⅰ）」担当追加。「日本語表現技術Ⅲ」、「日本語集中講座（編入）※」担当無し。
※「日本語集中講座（編入）」は編入者用クラスのため今年後開講無し
- ・ 渡邊孝枝講師「身体運動Ⅱ」担当無し
- ・ 安達宏之講師「くらしのなかの日本国憲法」担当無し
- ・ 加藤薫講師「日本語研究A（時事Ⅰ）」担当無し
- ・ 榊原理枝子講師「英語Ⅰa」本学科では担当無し
- ・ 谷洋子講師「英語Ⅰa」、「TOEIC対策講座」追加
- ・ 名児耶厚講師「社会情報リテラシー」担当追加
- ・ 宮崎順子講師「英語Ⅰa」担当追加
- ・ 宮本正治講師「アドバンスト・リーディング」担当追加

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
14	4	2	0	20	0	14	2	2	0	18	0
(14)	(2)	(2)	(0)	(18)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
14	2	2	0	18	0	12	4	2	0	18	0
[2]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	2 名	2 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{20} = \boxed{90} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{18} = \boxed{11.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率（該当なし）

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	准教授	阿部（神崎）史	R2.3.31	必修	入門ゼミナール	①	R1.8.31退職のため就任辞退		
				選択	リーガルリテラシー	②			
				必修	現代社会の基礎理解A	①			
				必修	現代社会の基礎理解B	①			
				必修	企画構想ワークショップI	①			
				必修	現代社会プロジェクト	③			
				選択	消費生活論	③			
				選択	市民生活論	③			
				選択	情報社会と法	③			
				選択	ビジネスと法	③			
				必修	演習	①			
				必修	卒業研究	①			
2	准教授	加藤 暁子	R2.3.31	必修	入門ゼミナール	①	R2.3.31退職のため就任辞退		
				選択	課題解決ゼミナール	①			
				必修	現代社会の基礎理解A	①			
				必修	現代社会の基礎理解B	①			
				必修	デザイン思考入門	②			
				必修	企画構想ワークショップI	①			
				選択	企画構想ワークショップII	②			
				必修	現代社会プロジェクト	③			
				選択	表現基礎（デザインリテラシー）	①			
				選択	表現基礎（色彩）	③			
				選択	プレゼンテーション	③			
				必修	演習	①			
必修	卒業研究	①							
3	教授	込江 雅彦	R2.3.31	必修	入門ゼミナール	①	R2.3.31退職のため就任辞退		
				必修	現代社会の基礎理解A	①			
				必修	現代社会の基礎理解B	①			
				必修	ビジネス基礎	①			
				必修	企画構想ワークショップI	①			
				必修	現代社会プロジェクト	③			
				選択	異文化交流	③			
				選択	日本語表現基礎	③			
				選択	現代社会実習Ⅰ（社会体験）	①			
				選択	現代社会実習Ⅱ（社会協働）	③			
				選択	インターンシップ	③			
				選択	ファイナンス基礎	③			
				選択	ビジネスコミュニケーション	③			
				選択	グローバルビジネス	③			
				選択	サービス学基礎	③			
				選択	業界研究	②			
				選択	ビジネスマーケティング講座	③			
				選択	IoT・AIとビジネス	③			
選択	ビジネスプロジェクト	①							
必修	演習	①							
必修	卒業研究	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3	人	必修	9 科目	必修	7 科目	必修	1 科目	必修	1 科目
		選択	23 科目	選択	4 科目	選択	3 科目	選択	16 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	32 科目	計	11 科目	計	4 科目	計	17 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) 一② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) 一③ 上記 (3) 一① ・ (3) 一② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
3	人	必修	9	科目	必修	7	科目
		選択	23	科目	選択	4	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	32	科目	計	11	科目

(3) 一④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)一③合計(D)+(F)}{(2)一②設置時の計画(A)} = \frac{3}{18} = \boxed{16.66} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職の申出に対しては他の専任教員の配当若しくは兼任講師の採用により、教育課程の進行に支障が無いよう配慮している。学生に対しては大学HP上に時間割・担当変更一覧を掲載し、周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成31年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<社会情報デザイン学部 社会情報デザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
各科目の運営	令和2年度当初の授業期間については、新型コロナウイルス感染症に対する対応として、学修時間を確保するとともに授業期間について弾力的に取り扱っている。また、遠隔授業、授業内に課すものに相当する課題研究等を活用して実施している。(2)

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

十文字学園女子大学全学委員会通則規程(別添資料1)に定められた全学委員会として、全学FD委員会を設置している。

全学FD委員会の構成は、委員長は学長または学長が指名する教職員とし、(1)学長、(2)専任教員2名、(3)大学院のFD委員会において選出された者1名、(4)その他委員長が必要と認めた者で構成しているが、活動の活性化及び各教員の理解を深めるため、②及び③の選出については各学科から1名を選出している。

令和元年度は研究担当副学長が委員長を務め、事務局の担当者を含め計16名(教員11名、職員5名)で運営された。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

令和元年度は全4回開催した。

第1回	令和元年5月30日(木)	教員出席者	10人
第2回	令和元年6月26日(木)	教員出席者	8人
第3回	令和元年9月26日(木)	教員出席者	9人
第4回	令和元年11月14日(木)	教員出席者	8人

c 委員会の審議事項等

十文字学園女子大学全学委員会通則規程により、全学FD委員会は次の事項を審議し、必要な事項を処理している。

- (1) FDに係る研修会等の実施に関する事項
- (2) 大学、大学院が行うFDに係る活動の連絡・調整に関する事項
- (3) 授業評価等FDに係る調査、研究に関する事項
- (4) その他本学のFDに関する事項

② 実施状況

a 実施内容

全学FD委員会が令和元年度に実施したFD活動は以下の通り。

- (1) 授業アンケート
- (2) 授業に関する学生・教員交流会
- (3) 授業公開
- (4) 研修会
- (5) FD報告書の作成

を実施した。

b 実施方法

(1) 授業アンケート

原則、前期後期ともに第13回目の授業を目途に、学生による授業アンケートを実施した。また、アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークに公開している。

(2) 授業に関する学生・教員交流会

令和2年1月9日（木）に、9学科（全学科）より学生を選出し、FD委員を中心とする教員との交流会を開催した。

(3) 授業公開

令和2年11月11日（月）～22日（金）にかけて、原則、後期に開講した全ての授業について、授業公開を行った。

(4) 研修会

令和元年11月21日（木）に、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」についての教職員対象のFD（SD）研修会を実施した。

(5) FD報告書の作成

令和2年に「令和元年度FD報告書」の刊行する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

(1) 授業アンケート

- ・令和元年度は、前期は7月10日（月）～8月12日（月）、後期は12月11日（水）～2月4日（火）にアンケート実施期間を設定した（両学期とも集中講義科目及び非常勤講師を含む。）。
- ・実施対象者は前期231名、後期220名、実施率は前期95.7%、後期92.3%であった。
- ・アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークで公開することで学生へのフィードバックを行っているが、コメント提出率は、前期81.4%、後期79.3%であった。前期分のコメントは、令和元年9月30日に公開済みである。（後期分は現在、保留中）

(2) 授業に関する学生・教員交流会

- ・9学科（全学科）から選出した代表学生及び留学生25名と、FD委員を含む教員10名が参加した。
- ・参加者を5グループに分け、授業アンケート及び事前に意見を求めたトークテーマについてミーティングとグループ発表を行った。

(3) 授業公開

- ・授業公開の期間を各学科1週間、見学期間を2週間とした。公開時期を1週間とすることで公開側の負担を軽減し、見学期間の選択肢はこれまで通り確保（同学科でも他学科でも見学可能と）した。
- ・見学者は、57名（教員48名、職員9名）であった。また、見学者には見学記録の提出を義務付けた。

(4) 研修会

- ・外部講師1名を招き、2名の学内教員のコーディネイトにより、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」をテーマに、教学マネジメントの基本、本質的な問いの追究、カリキュラムの意図を反映させる工夫、カリキュラムの編成・実施・評価・改善のポイントについての研修会を行った。参加者は118名（教員86名、職員32名）であった。

(5) FD報告書の作成

令和2年9月以降に「令和元年度FD報告書」の刊行を予定している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学では、授業の質的改善・向上を目的として、継続的に「学生による授業アンケート」を実施しており、その結果は、学内ネットワーク上で公開し学生にフィードバックしている。アンケート結果に対するコメントや自由記述に対して回答することにより、各教員が今後の改善点を明らかにしている。

また、研修会「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」のように、FD委員会が研修会を企画し、授業改善への働きかけを行っている。

平成23年度より、全学委員会通則規程に基づき設置された教員評価委員会のもと、教員評価規程（別添資料2）に則って、教育、研究、社会活動、学務の4領域を対象として教員評価を実施している。各教員の個人努力を喚起し、授業改善はもとより、教員の資質の維持向上を図るよう取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前述の通り

前述の通り

b 教員や学生への公開状況、方法等

前述の通り

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、継続的に教育体制改革を行っており、今回の改組は第三次教育体制改革として、第一次及び第二次の成果を踏まえつつ、①学部体制の改編、②新たな教育課程を修了し卒業した学生が、社会のなかで生涯にわたり活躍していくことを想定した教育内容の構築、③既存学科の強化及び本学の伝統を活かしつつ学生募集において可能性のある新たな領域（学科）の立ち上げ、④適切な定員設定、について検討を重ねてきた。学部体制については、本学が培ってきた教育研究上の領域をより明確にし、かつ、地域社会における諸課題の探求と解決に向けて、人々との連携や多職種での協働を基盤としつつ、それぞれが培ってきた専門性を発揮しうる人材を養成するために、より有効な体制と判断し、3学部へ再編成することを決定した。そして、令和2年度に①1学部体制を3学部体制（人間生活学部、教育人文学部、社会情報デザイン学部）へ再編成する、②入学定員を適正に設定変更する、③食の領域での発展拡大のために食品開発学科を新設する、④生活情報学科とメディアコミュニケーション学科を発展的に解消して、社会学を基盤とした社会情報デザイン学科を設置することとして、平成31年4月に届出を行い、令和2年4月にスタートを切った。

改組初年度である令和2年度入試において、新たな学部学科体制のPRと定員設定の見直しに成果が出て、旧体制下において定員割れが続いていた学科についても充足する運びとなった。ただ、文芸文化学科及び社会情報デザイン学科については歩留まりの読み違いから入学定員超過率が1.3を超えてしまった。両学科については、令和3年度入試に向け、超過是正を念頭におきつつ、本年度の傾向なども鑑み入試選抜に取り組む予定である。一方で、新設学科である食品開発学科について、定員40名に対し入学者31名と唯一、定員割れとなってしまったが、募集・広報戦略の見直しとともに、定員確保に努めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

・自己点検・評価委員会の編纂による報告書を毎年作成。

- a 公表（予定）時期
 - ・令和2年11月までに公表予定。
- b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定

- ③ 認証評価を受ける計画
- ・令和3年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審予定。

（注） ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。